

令和 8 （ 2 0 2 6 ） 年度

学 校 推 薦 型 選 抜
学 生 募 集 要 項

目 次

県立広島大学 アドミッション・ポリシー（求める学生像）	1
1 募集人員	4
2 出願資格	5
3 選抜方法	5
4 地域課題解決に向けた志向性の評価	5
5 スケジュール	6
6 試験日等	6
7 各学部・学科・コースにおける試験区分及び試験教科・科目等	8
■ 地域創生学部 地域創生学科 国際共生コース	8
■ 地域創生学部 地域創生学科 経営コース	9
■ 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース	10
■ 地域創生学部 情報学科	12
■ 生物資源科学部 地域資源開発学科	13
■ 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース	14
■ 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース	15
■ 保健福祉学部 保健福祉学科 看護学コース	16
■ 保健福祉学部 保健福祉学科 理学療法学コース	17
■ 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース	18
■ 保健福祉学部 保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース	19
■ 保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース	20
8 出願手続	21
9 出願書類提出先	26
10 出願手続上の注意事項	26
11 身体等に障害のある入学志願者との事前相談	26
12 志願者への特例措置	27
13 受験上の注意事項	27
14 合格発表等	28
15 入学手続等	28
16 授業料等	30
17 奨学金等	30
18 個人情報の取扱い	31
19 成績の提供・開示	31
20 受験に当たっての宿泊	31
試験場案内図	32

○ 「令和8年度入学者選抜における主な変更点等」については、令和8年度入学者選抜要項を参照してください。県立広島大学ホームページ（下記 URL）から参照できます。

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/undergraduate-selection/senbatsuyoukou.html>

県立広島大学 アドミッション・ポリシー（求める学生像）

本学は、基本理念や教育の特色を踏まえ、次のような学生を求めています。

【学士課程全体のアドミッション・ポリシー】

県立広島大学は、次に掲げる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」を持ち、地域社会の発展に貢献したいと願う人を求めています。入学選抜にあたっては、学力検査、小論文、面接等により、多面的に資質や意欲を評価し、決定します。

知識・技能	◆高等学校等での学びを通じた基礎学力を身に付けている。
思考力・判断力・表現力	◆物事を様々な視点から捉え、柔軟に思考できる。 ◆筋道立てて考え、その場にふさわしい表現を用いて伝えることができる。
主体性・協働性	◆自らの能力の向上を目指し、主体的に学ぶことができる。 ◆多様な他者を理解しようと努め、協力して物事を前進させることができる。

【各学部・学科・コースのアドミッション・ポリシー】

地域創生学部	地域創生学部は、国際共生、経営、健康科学、情報学のいずれかに強い関心を持ち、それらの知識・技能を身に付け、地域社会の持続的な発展に対する将来の貢献を目指す次の学生を求めます。 【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ基礎的知識を身につけ、国際共生、経営、健康、情報について学ぶうえで必要な基礎学力・理解力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆様々な社会事象を複眼的に捉え、それに対する自らの意見や主張、課題解決の道筋を論理的に、かつ熱意をもって説明できる人 【主体性・協働性】 ◆自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、国際共生、経営、健康、情報の分野から、地域社会の持続的な発展に貢献したいという意欲を持つ人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を持ち、他者の理解に努め、また他者と協働して活動を遂行することができるコミュニケーション能力を持つ人
	地域創生学科は、国際共生、経営、健康科学のいずれかに強い関心を持ち、それらの知識・技能を身につけ、地域社会の持続的な発展に対する将来の貢献を目指す次のような学生を求めます。 【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ基礎的知識を身につけ、国際共生、経営、健康について学ぶうえで必要な基礎学力・理解力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆様々な社会事象を複眼的に捉え、それに対する自らの意見や主張を論理的に、かつ熱意をもって説明できる人 【主体性・協働性】 ◆自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、国際共生、産業、健康の分野から、地域社会の持続的な発展に貢献したいという意欲を持つ人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を持ち、他者の理解に努め、また他者と協働して活動を遂行することができるコミュニケーション能力を持つ人
	国際共生コース 【知識・技能】 ◆日本や世界の各地で継承・展開されてきた言語文化及び社会文化に強い関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能を身につけている人 ◆自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能をバランスよく身につけている人 【思考力・判断力・表現力】 ◆基礎的な学力を身につけた上で、自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地の言語、社会、歴史、政治、教育、法、文芸、芸術、思想、心理などの人文科学的・社会科学的事象を複数の視点から相対的に捉え、自身の考えを適切に表現できる能力を身につけている人 【主体性・協働性】 ◆基礎的な学力を基盤として、主体的に探究と考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人
	経営コース 【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科ないし情報に関して十分な基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆ものごとを多角的にとらえ、論理的に思考し、客観的事実に基づいて適切に判断することができる人 ◆自分の考えを的確に表現し、他者にわかりやすく伝えることができる人 【主体性・協働性】 ◆基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持つ人 ◆企業や組織のしくみ及び活動を理解することに意欲や関心を持つ人 ◆経営戦略・マーケティング、会計・ファイナンスおよび政策科学の専門知識を主体的・協働的に学修し、それを活かして社会・地域に貢献し、活動することに関心のある人 ◆経営戦略・マーケティング、会計・ファイナンスおよび政策科学の専門知識を主体的・協働的に学修し、それを活かした職業につきたいと思っている人
健康科学コース	【知識・技能】 ◆高等学校で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ◆論理的に思考し、様々な観点から多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる人 ◆健康科学に関する自分の考えを、日本語でわかりやすく表現することができる人 【主体性・協働性】 ◆「生体・運動」「食品・栄養」「健康管理」のかかわりに興味を持ち、健康の維持・増進について主体的に地域社会に貢献する意欲がある人 ◆健康の維持・増進並びに疾病予防に関する課題に対して、他者と協働して解決する意欲がある人

	情報学科	地域創生学部のアドミSSION・ポリシーを踏まえ、情報学科は、情報学の専門的知識と技能の修得を目指す、次のような学生を求める。 【知識・技能】 ◆高等学校で英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科、情報に関して十分な基礎学力を持つ人 【思考力・判断力・表現力】 ・課題解決に際して、数学や情報の基礎的な考え方に基づき、課題解決の道筋を他者に論理的に説明できる人 ・データの分析や処理に際して、対象となる物事の動作や順序を正しく認識し、プログラミング的思考により目的達成の効率的な手段を考えられる人 【主体性・協働性】 ◆基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人 ◆企業や組織のしくみや活動に意欲や関心を持つ人 ◆コンピュータの仕組み、情報ネットワーク、情報セキュリティなどの理解や、データの分析・処理などによる新たな価値の創出に意欲や関心を持つ人
	生物資源科学部	農・食・生命・環境のいずれかの分野に強い関心を持ち、生物生産技術の開発による安定した食料生産、食の機能性・安全性の評価や生命機能の解明・生物資源の開発を通じた健康の維持・促進、良好な生存環境の創出、地球環境の保全や修復などの領域において、課題解決に必要な実践的・先端的知識と技術を身に付け、将来、新しい社会的、文化的、産業的な価値を生み出し、持続可能な社会の構築に貢献できる「課題探究型地域創生人材」として活躍したいという熱意と行動力を持った人を求める。
	地域資源開発学科	【知識・技能】 ◆「農」や「食」の分野において専門的かつ実践的な知識技能と科学的根拠に基づく情報発信力、マネジメント力を有し地域の課題解決に貢献したい人、特に実践的な技術者や研究者として活躍したいと考えている人 ◆未来につながる持続的農業システムや食品加工に強い関心を持ち、里山や各地域のもつ伝統的なもののよさを踏まえた科学的な専門的知識、技能を用いて新産業の創設や六次産業化により地域の発展に貢献する意欲がある人 ◆「農」や「食」の分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技術を身に付け、グローバルに活躍したい人 【思考力・判断力・表現力】 ◆実験や実践的なフィールド研究を踏まえ、伝統的知識と科学的知識を合わせて自ら思考判断して地域の持つ課題を解決する人 ◆農業、食品加工、経営マネジメントへの ICT、AI、ロボットなど新しい技術の活用や発見を目指す知的探究をしつつ、修得したものをその表現力をもって課題解決策を発信して地域に還元し、地域貢献を考える意欲がある人 【主体性・協働性】 ◆柔軟な思考と実践力を身に付け、地域社会が抱える多様な課題に対し、他者と協働しながら自ら主体的に活動し、地域の課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人
	生命環境学科	生命環境学科では、生命科学と環境科学に関する新しい知識や技術を積極的に吸収し、科学技術の発展を通じて社会に貢献したい人を求める。 ◆ライフサイエンスやバイオテクノロジー、持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野において、生命科学と環境科学に関する専門知識、新たな概念や技術を探究して活用するとともに、他者と協働しながら主体的に活動し、課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人
	生命科学コース	【知識・技能】 ◆「生命機能の解明」や「生物資源の開発」に興味をもち、ライフサイエンスやバイオテクノロジーに関する新しい知識と先端技術の修得に積極的な人 【思考力・判断力・表現力】 ◆生命科学及び周辺分野の課題を見出し、専門知識・技術を生かして、それらの課題を分析して解決策を明らかにしようと努力する人 【主体性・協働性】 ◆生命科学分野の専門家を目指し、積極的に大学院に進学してより深い知識や高い技術を身につけようとする人 ◆医薬品・化粧品・食品・アグリバイオ・生殖科学など、人々の生存や繁栄に関わる分野の諸問題を、生命科学および関連分野の専門家と一緒に議論しながら解決したいと考えている人
	環境科学コース	【知識・技能】 ◆教員や公務員として専門知識や技能を活かした人材育成、住民福祉や生活環境の向上を目指す人 ◆生命環境分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技能を身に付け、グローバルに活躍したい人 ◆環境科学に関する新しい知識や技術を積極的に吸収し、科学技術の発展を通じて社会に貢献したい人 【思考力・判断力・表現力】 ◆実験や調査などを通じた研究によって自ら問題を解決し、新しい発見を目指す知的探究が好きな人 ◆柔軟な思考と実践力、科学を学ぶ者としての倫理観を身に付け、国際社会や地域が抱える多様な問題に対し果敢に立ち向かい解決しようとする人 【主体性・協働性】 ◆持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野に広い興味を持ち、自ら学ぶ意思と積極性を有している人 ◆循環型材料・技術の開発、環境の分析や評価、環境修復や良好な環境の創出に関わる仕事に就きたいと考えている人

保健福祉学部 保健福祉学科	地域が抱える保健・医療・福祉分野の諸問題に関心を持ち、主体的にその解決のための行動を起こすことによって持続可能な地域の発展に貢献できる「課題探究型地域創生人材」の育成を目標とし、高等学校で学ぶ基礎的知識を身に付けた上で、入学後も生涯にわたり主体的に学び続ける意欲がある、次のような人材を求めます。 【知識・判断力・表現力】 ◆保健・医療・福祉分野についての専門知識を修得するための基礎学力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観と豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有している人 ◆多様性を尊重する視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆円滑にチームワークを進めることができるコミュニケーション能力を身に付けている人
看護学 コース	【知識・技能】 ◆保健・医療・福祉分野に関わる専門的知識・技能の修得に必要な基礎学力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆人類愛と倫理観を備えた豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、創造的に考え行動することができる人 【主体性・協働性】 ◆生命への尊厳を持ち、医療や健康に対する高い関心を有している人 ◆主体的に学ぼうとする意欲を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性とチームで活動するための協働性を有している人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会に貢献する意欲を有している人
理学療法学 コース	【知識・技能】 ◆専門知識を修得するための基礎学力を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観・豊かな人間性・教養を持ち、自己表現することができる人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 ◆論理的に思考し客観的に判断できる能力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームで活動することができる人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆円滑にチームワークを進めることができるコミュニケーション能力を身に付けている人
作業療法学 コース	【知識・技能】 ◆人の作業と健康の問題を理解し、問題解決に向けて臨機応変に対応できる基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観を持ち、多様な価値観を受け入れることができる柔軟性を有している人 ◆多面的に物事を捉え、自分の考えを的確に表現できる力を有している人 ◆作業療法に対する探究心を持ち、前向きに辛抱強く努力することができる力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有し、生涯にわたって作業療法の専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆多様性を尊重し、人の立場に立って物事を考えることができる想像力と共感性を有している人 ◆柔軟性と協調性を有し、チームで課題解決に向けて行動できるコミュニケーション力と実践力を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人
コミュニケーション 障害学コース	【知識・技能】 ◆コミュニケーション障害学とその周辺分野について専門的に学ぶために必要な、未知なことの学修に必要な基礎学力・理解力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆高い倫理観と豊かな人間性を有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応できる理解力や判断力を有している人 ◆科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 【主体性・協働性】 ◆コミュニケーション障害及び摂食嚥下機能とその障害について主体的に学ぼうとする強い意欲を有している人 ◆生涯にわたって専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームで活動することができる人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人 ◆自身とは異なる立場（年齢、地域性、文化的背景など）を持つ人々に係わった経験があり、他者の立場や意見を尊重しながら、積極的・意欲的にコミュニケーションを取ることができる人
人間福祉学 コース	【知識・技能】 ◆人が社会生活を営む上で生じる様々な課題の解決に必要な専門知識や技術を習得するための基礎学力・理解力を有している人 ◆多様な価値観を受け入れる柔軟性と協調性があり、チームワークに必要なコミュニケーション能力を有している人 【思考力・判断力・表現力】 ◆生活問題や社会問題への関心、科学的思考力や探究心を持ち、豊かな創造性を有している人 ◆高い倫理観と豊かな人間性を基盤とした、誠実さを有している人 ◆問題解決に向けて臨機応変に対応するための、多面的かつ論理的な理解力、判断力、表現力を有している人 【主体性・協働性】 ◆自己形成に向けて、主体的に学び取り組もうとする学修意欲を有している人 ◆国際社会も含めた広い視野を持ち、地域社会への貢献に関心を有している人

詳細については、「県立広島大学の3つの方針（ポリシー）」（本学ホームページ）で確認してください。

令和8（2026）年度 学校推薦型選抜学生募集要項

1 募集人員

学部	学 科・コース		入学 定員	募 集 人 員 の 内 訳(人)							
				一 般 選 抜		特 別 選 抜					
				前期日程	後期日程	学校推薦型選抜			総合型 選抜	社会人 特別 選抜	外国人 留学生 特別選抜
				前期	後期	県内 高等学校等	県内専門 高等学校等	全国 高等学校等			
地域創生学部	地域創生学科	国際共生 コース	75	32	10	15	—	5	10	若干名	3
		経営コース	50	22	4	16	2	4	—	若干名	2
		健康科学 コース	35	20	—	9	2	2	—	若干名	2
	情報学科		40	20	4	10	1	3	—	若干名	2
生物資源科学部	地域資源開発学科		40	14	—	5	4	6	9	若干名	2
	学生環境 科	生命科学 コース	50	23	10	7	2	6	—	若干名	2
		環境科学 コース	50	23	10	7	2	6		若干名	2
保健福祉学部	保健福祉学科	看護学 コース	60	33	6	20	1	—	—	若干名	—
		理学療法学 コース	30	16	3	11	—	—		若干名	
		作業療法学 コース	30	16	3	9	—	2		若干名	
		コミュニケーション 障害学コース	30	16	3	7	—	4		若干名	
		人間福祉学 コース	40	21	3	12	1	3		若干名	
合 計			530	256	56	128	15	41	19		15

（注）特別選抜における合格者が募集人員に満たなかった場合は、学科・コースごとに一般選抜（前期日程）の合格者で補充します。

2 出願資格

各学部・学科・コースごとに定めるすべての要件を満たす者とします。

出願要件への該当可否等に疑義が生じた場合は、県立広島大学本部事務部入試・広報課（26 ページ参照）へ連絡してください。

3 選抜方法

各学部・学科・コースごとに定める試験科目及び書類審査等の結果を総合して行います。原則、令和8年度大学入学共通テストの受験は免除とします。ただし、地域創生学部地域創生学科健康科学コースについては、可否判定に利用（10、11 ページ参照）するため、本学が指定する教科・科目の受験が必要です。

4 地域課題解決に向けた志向性の評価

本学が新たな目標として掲げる「課題探究型地域創生人材」の育成に向け、広島県に限らず全国、さらには海外も含め、志願者が自ら暮らし、活動してきた地域に目を向け、そこに生じている様々な分野の課題に関心を持ち、他者とも協働しながら主体的に課題探究を行い、その解決に向けて積極的に行動していこうとする熱意や意欲を重視した選抜を行います。

なお、調査書、評価申請書、志望理由書等において、相互で内容が重複する場合は、それぞれで評価します。

(1) 「主体性・協働性」の評価

ア 「主体性・協働性」は、高等学校等における学びの履歴について、調査書等を中心として評価することとし、得点化を行います。

イ 調査書における評価（記載）項目については、各学部・学科・コースにおいて設定しています。具体的な内容は、各学部・学科・コースのページを参照してください。また、本学ホームページにも掲載しています。

ウ 新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、令和8年度入学者選抜においては、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格・検定試験等の成績を評価する際には、評価の方法や重み付け等に配慮し、諸活動や資格・検定試験等が中止・延期等となった場合でも、この間の個々の志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスや主体的な取組、本学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価します。

エ 令和8年度入学者選抜において、調査書については、出席日数や特別活動の記録、その他、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることがないように配慮します。

主体性・協働性の評価における評価基準

項 目		調査書の内容（項目）	評価基準
1	①各教科・科目及び総合的な探究の時間における特徴等	「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されている。
2	②行動の特徴、特技等	「6. 特別活動の記録」	
3		「7. 指導上参考となる諸事項」	肯定的な意見が <u>3年分</u> 記載されている。
4	③部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等	「7. 指導上参考となる諸事項」	具体的な取組内容の記載が <u>1つ以上</u> 記載されている。
5	④取得資格・検定等	「7. 指導上参考となる諸事項」	具体的な取組内容の記載が <u>1つ以上</u> 記載されている。
6	⑤表彰・顕彰等の記録	「7. 指導上参考となる諸事項」	具体的な取組内容の記載が <u>1つ以上</u> 記載されている。
7	⑥その他	「7. 指導上参考となる諸事項」 「8. 備考」	具体的な取組内容の記載が <u>1つ以上</u> 記載されている。

※ 「項目」にある①から⑥について、それぞれ「調査書の内容（項目）」で評価します。

※ 評価の対象とする「調査書の内容（項目）」については、各コースのページで確認してください。

※ 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、各項目への記載が難しい場合は、調査書の「8. 備考欄」に補足として、成果獲得に向けた努力のプロセス等を具体的に記載してください。

※ 記載については任意です。

(2) 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

以下に示すような取組の中から自身が課題だと考えた点、解決したい・掘り下げてみたいと考えた内容について、今後、自身の大学での学びにどのようにつなげていきたいかを受験者が記載した「評価申請書」（提出任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

なお、取組の時期は問いません。

ア 本学が公開する講座や高大接続事業等への参加（オンラインによる視聴等を含む）

【公開講座や高大接続事業等の例】

- ・ 高大連携公開講座（教育ネットワーク中国主催）
- ・ 中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（教育ネットワーク中国主催）
- ・ 地域基盤研究機構地域連携センター公開講座・シンポジウム
- ・ 「県大へ行くー授業公開ー」（本学の公開授業）
- ・ 模擬講義（オープンキャンパスや施設見学等の企画として本学において実施／高等学校において実施）

イ 他大学が公開する講座や高大接続事業等（アに準ずるもの）への参加（オンラインによる視聴等を含む）

ウ 「総合的な探究の時間」における取組

エ 地域における取組等（ボランティア活動への参加や、部活動等において地域に関する活動等に取り組んだ場合）

オ その他「県立広島大学・地域への志向性」の取組と認められるもの（本学教員の著書や論文の読了、本学ホームページの閲覧等）

5 スケジュール

		日 程
出 願 期 間		令和7年11月 1日（土）から11月8日（土）まで
受 験 票 発 行		令和7年11月14日（金） 正午から印刷できます。
試 験 日		令和7年11月21日（金）
合 格 発 表		令和7年12月11日（木）正午
	地域創生学部地域創生学科 健康科学コースのみ	令和8年 2月10日（火）正午
入 学 手 続 期 間		令和7年12月12日（金）から12月19日（金）まで
	地域創生学部地域創生学科 健康科学コースのみ	令和8年 2月11日（水）から 2月17日（火）まで

6 試験日等

(1) 試験日

令和7年11月21日（金）

(2) 試験場（案内図は32ページ参照）

学 部	試験場及び所在地
地 域 創 生 学 部	広島キャンパス 〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号 電話番号 (082)251-9540
生 物 資 源 科 学 部	庄原キャンパス 〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地 電話番号 (0824)74-1700
保 健 福 祉 学 部	三原キャンパス 〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号 電話番号 (0848)60-1126

(3) 試験時間割

面接及び学修計画書に関する面接では、諸注意開始時刻を経過して指定の集合場所に到着した場合は、受験を認めません。

キャンパス	学部・学科・コース			試験科目 1		試験科目 2	
				諸注意 開始時刻	試験時間	諸注意 開始時刻	試験時間
広島	地域創生 学部	地域創生 学科	国際共生コース	<u>9:15</u>	小論文 9:30～11:00 (90 分)	<u>12:15</u>	学修計画書に 関する面接 12:30～
			経 営 コ ー ス	<u>9:15</u>	小論文 9:30～11:00 (90 分)	<u>12:15</u>	面接 12:30～
			健康科学コース	<u>9:15</u>	面 接 9:30～	—	
		情 報 学 科		<u>9:15</u>	小論文 9:30～11:00 (90 分)	<u>12:15</u>	面接 12:30～
庄原	生物資源 科学部	地 域 資 源 開 発 学 科		<u>9:15</u>	小論文 9:30～11:00 (90 分)	<u>12:15</u>	面 接 12:30～
		生命環境 学科	生命科学コース				
			環境科学コース				
三原	保健福祉 学部	保健福祉 学科	看 護 学 コ ー ス	<u>9:15</u>	小論文 9:30～11:00 (90 分)	<u>12:15</u>	面 接 12:30～
			理学療法学コース				
			作業療法学コース				
			コミュニケーション 障 害 学 コ ー ス				
			人間福祉学コース				

7 各学部・学科・コースにおける試験区分及び試験教科・科目等

■ 地域創生学部 地域創生学科 国際共生コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は令和8年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の1又は2のいずれかに該当する者で、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

- 1 高等学校等の普通科若しくは外国語に関する学科若しくは国際関係に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
- 2 高等学校等の総合学科若しくは理数に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、国語、外国語及び国際理解に関する教科・科目の単位を30単位以上修得した者又は修得する見込みである者

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (15)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者
全国高等学校等推薦 (5)	広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者

- ② 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。

- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。

- ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり3人まで
- ② 全国高等学校等推薦 1学校当たり1人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	140	論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。	
	学修計画書に関する面接	60	おもに出願時に提出された学修計画書（A4判2枚）に基づいて、国際共生コースで学ぶことに対する意欲や目的意識等について質問し、応答の内容・態度、目的意識の高さなどを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び学修計画書に関する面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、「小論文」の得点の高い順に合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 経営コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (16)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦 (4)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者であること。
県内専門高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
③ 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準
募集区分 共通	小 論 文	100	論文・評論等を題材とする問題で、大学で経営学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	面 接	80	経営を学ぶことに対する志望動機・意欲、高校生活及び日ごろ興味を持っていること、地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲、海外留学経験などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し、点数化して評価します。
	調 査 書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
			調査書での該当する記載欄
			評価基準又は高い評価となる例
			「6. 特別活動の記録」
			「7. 指導上参考となる諸事項」
			※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、小論文の得点の高い順に合格とします。

■ 地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は令和8年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（9）	広島県内の高等学校等の普通科、国際に関する学科、理数に関する学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科、家庭に関する学科若しくは体育に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する学科、家庭に関する学科若しくは体育に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。

③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。

④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

⑤ 令和8年度大学入学共通テストに出願し、理科を受験する者であること。（下記の表を参照）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
② 県内専門高等学校推薦 1学校の各学科から1人まで
③ 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
県内 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	200	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「地学基礎」除く）、 『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	
	面 接	200	健康に関する課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（4分以内）を 実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修 意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対 応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
県内専門 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	160	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（選択科目から「地学基礎」除く） （100点を160点に換算）	
	面 接	240	健康に関する課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（4分以内）を 実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修 意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対 応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
全国 高等学校等 推薦	大 学 入 学 共通テスト 【理 科】	200	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（選択科目から「地学基礎」除く）、 『物理』、『化学』、『生物』 から2科目	
	面 接	200	健康に関する課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（4分以内）を 実施するとともに、地域課題に対する関心・探究意欲、健康科学に対する興味・学修 意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対 応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
募集区分 共通	調 査 書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価しま す。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「6. 特別活動の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯 定的な評価が記載されていること。
			「7. 指導上参考となる諸事項」	
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験 等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに 向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

※ 「理科」において、基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：『化学基礎、生物基礎』及び『化学』を選択）

※ 出願後に大学入学共通テストの未受験等により受験科目の不足があった場合でも、入学者選抜料の返還は行いません。注意してください。

■ 加点対象

- ・ 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した
評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 面接におけるプレゼンテーションについて

面接における「プレゼンテーション」（4分以内）は、**A3用紙（枚数：自由）を使った発表のみ**とします。

- ①プレゼンテーションの資料は、事前に作成し、試験当日に持参してください。
- ②資料は、パソコン入力でも手書きでも構いません。面接室には、A3用紙を貼るための縦90 cm×横120 cmのホワイトボード1枚とマグネットバー（長さ30 cm、十分な本数）および3色（黒、赤、青）のホワイトボードマーカー（必要に応じて自由に使用）を準備しています。
※インターネット環境、パソコン、プロジェクターの準備はありません。
- ③面接員はホワイトボードから2 m離れた場所にいます。
- ④入室後、面接員の指示を受け、プレゼンテーションは準備も含めて面接の最初の4分間で行ってください。プレゼンテーション終了後、質疑応答に入ります。試験室には、ホワイトボードに貼る**A3用紙**以外の資料等の持ち込みは不可とします。

(5) 合否判定基準

合否判定基準
面接及び大学入学共通テストの得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 地域創生学部 情報学科

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (10)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の工業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者（注） 3 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者 4 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者（注） （注）ただし、上記2又は4に該当する者にあつては、「工業技術基礎」及び「工業情報数理」2科目を履修している者に限る。
全国高等学校等推薦 (3)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者であること。
県内専門高等学校等推薦については、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
③ 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり2人まで（ただし、4人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	論文・評論等を題材とする問題で、大学で応用情報学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	80	応用情報を学ぶことに対する志望動機・意欲、高校生活および日ごろ興味を持っていること、地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲、海外留学経験などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「6. 特別活動の記録」 「7. 指導上参考となる諸事項」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

募集区分共通

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

県内専門高等学校等推薦のみ

- 対象資格の取得
対象資格（※）の取得者には最大20点の範囲で加点を行います。ただし、高等学校在学中に取得した資格が対象で、複数の実績がある場合は、最も得点の高い値を採用します。
※ 対象資格及び得点
① 全商情報処理検定 ビジネス情報部門1級とプログラミング部門1級の両部門合格（全国商業高等学校協会主催） 8点
② 全工情報技術検定1級（全国工業高等学校長協会主催） 8点
③ 情報処理技術者試験（情報処理推進機構主催）
ITパスポート試験 10点、 基本情報技術者試験 15点、 応用情報技術者試験 20点

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 生物資源科学部 地域資源開発学科

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（5）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（4）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科、工業に関する学科若しくは商業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目、工業に関する教科・科目若しくは商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部及び転学科は、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点
募集区分 共通	小論文	100	現代社会や自然科学、農業や食品等に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。
	面接	100	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	調査書等	30	主体性や共同性について、高等学校における学びの履歴などを点数化して評価します。評価対象は次の項目と島す。
			調査書での該当する記載欄
			「3. 各教科の学習成績の状況」
			「5. 総合的な探究の時間の記録」
			「6. 特別活動の記録」
			「7. 指導上参考となる諸事項」
			※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。
			評価基準又は高い評価となる例 いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。
- 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 生命科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦（7）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦（2）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦（6）	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。

- ③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで（ただし、6人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
募集区分 共通	小論文	100	現代社会や自然科学、生命科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面接	100	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	30	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「3. 各教科の学習成績の状況」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「5. 総合的な探究の時間の記録」				
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点点数

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点点数を付与します。
- 海外への留学経験（10点満点）
海外への留学経験について、提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加点点数を付与します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部 生命環境学科 環境科学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者、若しくは高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分 (定員)	要 件
県内高等学校等推薦 (7)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦 (6)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

② 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。

③ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。(推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。)

(2) 推薦人員

募集区分ごとに、1学校当たり3人まで(ただし、6人を上限とする。)

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点	
募集区分 共通	小論文	100	現代社会や自然科学、環境科学に関わる諸問題を題材にして、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面接	100	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	30	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「3. 各教科の学習成績の状況」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「5. 総合的な探究の時間の記録」				
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点对象

- 県立広島大学・地域への志向性 (5点満点)
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書(提出は任意)に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加 points します。
- 海外への留学経験 (10点満点)
海外への留学経験について、提出書類(該当者は提出)と面接での質疑応答を通して最大10点までの範囲で面接の得点に、加 points します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは、合格してから入学するまでの数か月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で、高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 看護学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (20)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	次のいずれにも該当する者 1 広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 看護に関する科目（「高等学校学習指導要領（平成30年文部科学省告示第68号）」第1章第2款又は「特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年文部科学省告示第14号）」第1章第2節第2款に掲げる教科のうち、看護に属する科目に相当するものを指す。）を修得した者又は修得する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者であること。
③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり3人まで
② 県内専門高等学校等推薦 1学校当たり1人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小 論 文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面 接	100	看護学分野に対する興味・関心・意欲、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断して、点数化して評価します。	
	調 査 書 等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合是不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 理学療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (11)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

1 学校当たり 3 人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
県内 高等学校等 推薦	小 論 文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面 接	100	理学療法分野および地域課題の基本事項、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、理学療法士としてチームで活動できる人材として望まれる態度、協調性、思考力などを総合的に判断して、点数化して評価します。	
	調 査 書 等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合是不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (9)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
全国高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高専等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高専等第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	本コースで学ぶことへの意欲と志向、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した **評価申請書（提出は任意）** に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (7)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
全国高等学校等推薦 (4)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	本コースで学ぶことへの意欲と志向及び言語聴覚士についての理解、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
「5. 総合的な探究の時間の記録」			いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。	
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。 ただし、小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合是不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

(1) 出願要件

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ① 令和7年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要 件
県内高等学校等推薦 (12)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	広島県内の高等学校等の福祉に関する学科若しくは家庭に関する学科の生活福祉科若しくは人間福祉科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
全国高等学校等推薦 (3)	次のいずれかに該当する者 1 広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内を含めた全国の高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者であること。
 ③ 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。
 ④ 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部、転学科及び転コースは、原則、許可しない。）

(2) 推薦人員

- ① 県内高等学校等推薦 1学校当たり2人まで
 ② 県内専門高等学校等推薦 1学校当たり1人まで
 ③ 全国高等学校等推薦 1学校当たり2人まで

(3) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準	
募集区分 共通	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面接	100	社会福祉に関連する地域課題探究への意欲と志向、高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し、論理的思考力、表現力、理解力などを総合的に判断して、点数化することで評価します。	
	調査書等	5	主体性や協働性について、高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。 評価対象は次の項目とします。	
			調査書での該当する記載欄	評価基準又は高い評価となる例
			「5. 総合的な探究の時間の記録」	いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。
「6. 特別活動の記録」				
「7. 指導上参考となる諸事項」				
※ 上記の項目について、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大会や資格・検定試験等の中止・延期等により記載できない場合は、その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を、「8. 備考」の欄に補足として、具体的に記載してください。				

■ 加点対象

- 県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
 本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて、受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき、県立広島大学・地域への志向性を判断し、最大5点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。

8 出願手続

インターネット出願のみ受け付けます。

出願手続の流れ

1 情報の入力・登録



出願者の個人情報を入力します。(24 時間可能)

2 入学者選抜料の支払い



コンビニエンスストア、金融機関 ATM (Pay-easy)・ネットバンキング、クレジットカードのいずれかで入学者選抜料 (17,000 円) をお支払いください。

3 書類の印刷・郵送



出願書類を印刷 (A4 サイズ、白黒可) し、内容を確認後、角形 2 号封筒に入れて、書留速達郵便で郵送してください。

(1) 出願期間 (インターネット出願登録及び書類提出期間)

インターネット出願登録及び入学者選抜料の支払期間	令和 7 年 11 月 1 日 (土) 午前 9 時から 11 月 8 日 (土) 午後 5 時まで
出 願 書 類 提 出 期 間	令和 7 年 11 月 1 日 (土) から 11 月 8 日 (土) 【消印有効】

※ 入学者選抜料の支払期限は、出願登録後に表示される画面に記載されています。

※ 郵送のみ受け付けます。持参による受付は行いません。

※ 出願期間最終日までの消印のある書留速達郵便によって提出された書類に限り、出願期間終了後に到着した場合でも、受理します。

※ 「出願書類の到着確認」の問い合わせにはお答えすることはできません。配達状況は、日本郵便ホームページ等の、追跡サービスで確認してください。出願書類受理の通知は行いません。

※ 出願書類に不備等がある場合は、原則として、インターネット出願サイトに登録した電話番号、またはメールアドレスにその旨を連絡します。出願書類提出期間を過ぎても連絡が取れず、不備等が解消されない場合は、出願を受理することができません。注意してください。

※ 出願が受理された後、受験番号は受験票で確認できます。

(2) 出願書類（提出書類）

提出書類は、A4 サイズ・片面印刷とし、ホチキス・クリップ等で留めないでください。

提出書類	摘	要																																			
入学志願書	インターネット出願登録・入学者選抜料支払後に印刷できます。 インターネット出願サイトの『志願票（印刷）』から印刷（A4・片面）し、提出してください。																																				
推薦書 （コピー不可）	本学ホームページ（下記 URL）から様式をダウンロードし、推薦学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 インターネット出願サイトメニュー > 出願書類のダウンロード https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/undergraduate-selection/boshuyoukou.html																																				
調査書 （コピー不可）	文部科学省が定めた様式により推薦学校長が作成し、厳封したものを提出してください。（出願する学科・コースのページを確認の上、作成してください。）																																				
単位修得（見込） 証明書 （該当者のみ提出） （コピー不可）	次の学科・コースに出願する者で、出願要件がア～エに該当する場合は、本学ホームページ（下記 URL）から様式をダウンロードし、推薦学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 【出願する学科・コース・枠】																																				
	<table><tr><th>学 部</th><th>学 科</th><th>コ ー ス</th><th>募集区分</th><th>出願要件</th></tr><tr><td rowspan="4">地 域 創 生 学 部</td><td rowspan="3">地 域 創 生 学 科</td><td>国際共生コース</td><td>県内 全国</td><td>ア</td></tr><tr><td>経営コース</td><td rowspan="2">県内専門</td><td>イ</td></tr><tr><td>健康科学コース</td><td>イ</td></tr><tr><td></td><td>情 報 学 科</td><td></td><td>県内専門</td><td>イ又はウ</td></tr><tr><td rowspan="3">生 物 資 源 科 学 部</td><td>地 域 資 源 開 発 学 科</td><td></td><td>県内専門</td><td>イ</td></tr><tr><td rowspan="2">生 命 環 境 学 科</td><td>生命科学コース</td><td rowspan="2">県内専門</td><td rowspan="2">イ</td></tr><tr><td>環境科学コース</td></tr><tr><td>保 健 福 祉 学 部</td><td>保 健 福 祉 学 科</td><td>看 護 学 コ ー ス</td><td>県内専門</td><td>エ</td></tr></table>		学 部	学 科	コ ー ス	募集区分	出願要件	地 域 創 生 学 部	地 域 創 生 学 科	国際共生コース	県内 全国	ア	経営コース	県内専門	イ	健康科学コース	イ		情 報 学 科		県内専門	イ又はウ	生 物 資 源 科 学 部	地 域 資 源 開 発 学 科		県内専門	イ	生 命 環 境 学 科	生命科学コース	県内専門	イ	環境科学コース	保 健 福 祉 学 部	保 健 福 祉 学 科	看 護 学 コ ー ス	県内専門	エ
	学 部	学 科	コ ー ス	募集区分	出願要件																																
	地 域 創 生 学 部	地 域 創 生 学 科	国際共生コース	県内 全国	ア																																
			経営コース	県内専門	イ																																
			健康科学コース		イ																																
			情 報 学 科		県内専門	イ又はウ																															
	生 物 資 源 科 学 部	地 域 資 源 開 発 学 科		県内専門	イ																																
		生 命 環 境 学 科	生命科学コース	県内専門	イ																																
			環境科学コース																																		
保 健 福 祉 学 部	保 健 福 祉 学 科	看 護 学 コ ー ス	県内専門	エ																																	
【出願要件】 ア 高等学校等の総合学科若しくは理数科を卒業した者又は卒業する見込みである者 イ 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 ウ 広島県内の高等学校等の工業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 エ 広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科もしくは総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 インターネット出願サイトメニュー > 出願書類のダウンロード https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/undergraduate-selection/boshuyoukou.html																																					
すべての学科・コース ※地域創生学部 地域創生学科 国際共生コースを除く。 本学ホームページ（下記 URL）から様式をダウンロードし、志願者本人が作成したものを郵送で提出してください。 インターネット出願サイトメニュー > 出願書類のダウンロード https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/undergraduate-selection/boshuyoukou.html																																					
地域創生学部 地域創生学科 国際共生コースのみ 本学ホームページ（下記 URL）から様式をダウンロードして印刷（A4・2枚・片面）し、志願者本人が作成したものを郵送で提出してください。 インターネット出願サイトメニュー > 出願書類のダウンロード https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/undergraduate-selection/boshuyoukou.html																																					

(出願書類(提出書類)の続き)

提出書類	摘 要
大学入学共通テスト 成績請求 チケット 貼付用紙 (該当者のみ提出)	地域創生学部 地域創生学科 健康科学コースのみ 本学ホームページ(下記 URL) から「大学入学共通テスト成績請求チケット貼付用紙」の様式をダウンロードしてください。共通テスト出願サイトのマイページ上にある「成績請求チケット」をダウンロードの上、印刷し、「国公立推薦型選抜用」を貼り付けて、26 ページ「9 出願書類提出先」へ簡易書留郵便にて提出(郵送封筒は任意)してください。 提出期間：令和7年12月10日(水)から12月22日(月)【必着】 インターネット出願サイトメニュー > 出願書類のダウンロード https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/undergraduate-selection/boshuyoukou.html
資格を証明する 合格証明書 又は 合格証の写し (任意提出)	地域創生学部 情報学科(県内専門高等学校等推薦)(加点対象) 対象資格は、12 ページ参照 上記の合格証明書又は合格証の写しを提出することができます。
海外留学経験 に関する書類 (任意提出)	生物資源科学部のみ(加点対象) ・地域資源開発学科：13 ページ参照 ・生命環境学科：14、15 ページ参照 志願者本人が作成したものを、提出することができます。 作成の際は、「氏名」「海外留学した国(地域)」「時期」「期間」「海外留学を通して学んだこと」を必ず記入してください。 インターネット出願登録時にアップロード提出ができます。 この場合、郵送は不要です。 ※海外留学の基準期間は、「移動期間を含む2週間以上」とします。 ※提出様式は自由(A4・1枚程度)
「県立広島大学・ 地域への志向性」 評価申請書 (任意提出)	すべての学科・コース(加点対象) 本学ホームページ(下記 URL) から様式をダウンロードし、志願者本人が作成したものを、提出することができます。 ※「県立広島大学・地域への志向性」の評価については、6 ページを参照してください。 ※評価申請書は A4 サイズ片面1枚、添付書類は A4 サイズで片面5枚以内とします。 ※作成の際、様式に記載の注意事項を必ず確認してください。 インターネット出願サイトメニュー > 出願書類のダウンロード https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/undergraduate-selection/boshuyoukou.html

(注) 出願書類のうち、日本語以外で書かれた証明書等がある場合には、必ず日本語訳を添付してください。

(3) インターネット出願における注意事項

この学生募集要項を必ずお手元に用意して、操作してください。

① 登録情報の変更

■ 入学者選抜料支払前

申込完了後に、登録情報の変更はできません。この場合、入学者選抜料の支払いを行わず、再度の出願登録手続きが必要となります。インターネット出願サイトにおけるマイページの『出願手続きを行う』をクリックし、再度はじめてから入力してください。

登録情報変更前の出願登録手続きから支払処理を行わないでください。後日、返金手続きが必要となります。
(支払処理をしない場合、登録情報は削除されます。)



■ 入学者選抜料支払後

入学志願書の「志望学部・学科」、「コース・枠」、「募集区分」の訂正はできません。必ず県立広島大学本部事務部入試・広報課へ連絡してください。

その他の記載内容を訂正する場合は、出願書類を印刷した後、「二重線で消して赤字で訂正」してください。(訂正印は不要です。)

○連絡先

県立広島大学 本部事務部入試・広報課

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号

電話番号 (082) 251-9540 (受付時間：平日午前9時から午後5時まで)

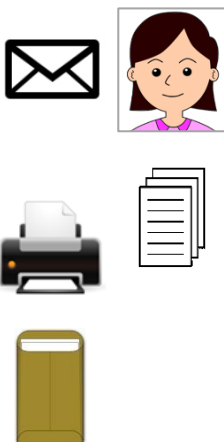
E-mail: puhnyusi@pu-hiroshima.ac.jp

② 漢字の登録エラー

氏名や住所などの個人情報等を入力する際に、旧字体など JIS 第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーとなる場合があります。正しく表示されない場合は、常用漢字を用いて入力してください。

(4) 出願手順

① 事前準備



インターネット出願登録を行う前に、下記を準備してください。

なお、出願書類をアップロード提出する場合は、データを準備してください。

■ メールアドレス

出願時の通知及び受験票の印刷案内を送付する際に使用します。また、入学手続きやその他連絡用としても必要ですので、入学日まで確実に使用できるメールアドレスを登録してください。

受信設定においてドメイン指定受信を設定している場合は、「@e-apply.jp」からのメールを受信できるように設定を追加してください。

■ 志願者本人の写真データ

JPEG 形式、4MB 以内、出願前3か月以内に撮影したもの

(正面上半身(胸上)、無帽、無背景、志願者本人の顔が明確に確認できるもの)

■ プリンターと印刷用紙 (A4 普通紙・白黒印刷可)

■ 市販の角形2号封筒(24cm x 33.2cm) : 1枚

② インターネット出願サイトへのアクセス



県立広島大学ホームページの「出願・入学手続きサイト」バナー、又は下記の URL、QR コードからアクセスし、マイページへログインしてください。

<https://e-apply.jp/ds/puh/>



③ マイページの作成



マイページ登録



ログイン

■ 初めて登録される方

初めて本学へ出願登録を行う場合は、『マイページ登録』ボタンをクリックし、案内に従って、マイページを作成してください。登録したメールアドレス宛にパスワードが送信されます。

マイページのトップページから、メールアドレスとパスワードを入力して、ログインしてください。

※ 今後、出願登録から受験票の印刷、入学手続まで、すべてこのマイページから行います。メールアドレス、パスワードは必ず控えてください。

※ マイページ作成後、メールアドレスの変更はできません。

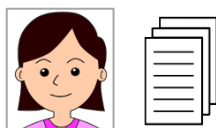
■ 既に登録済みの方

メールアドレスとパスワードを入力して、ログインしてください。

サイト及び操作、パスワード紛失に関する問い合わせは、下記の URL へアクセスし、「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンターへ電話又はメールにより連絡してください。

● サポートページ <https://e-apply.jp/e/support/>

④ 個人情報等の入力、写真データ（及び出願書類）のアップロード提出



出願する学部・学科・コース等を選択し、画面の指示に従って、「個人情報等の入力」、「写真データ（及び出願書類）」のアップロード提出を行ってください。

※ 志願者連絡先は、合格通知書等を確実に受け取れる住所を記入してください。

※ 入力した内容を必ず確認してください。（申込完了後の修正はできません。）

※ 出願登録後に「受付番号」が表示されますので、必ず控えてください。

⑤ 入学者選抜料の支払い



出願情報を登録後、引き続き、決済方法を選択し、画面の指示に従って、入学者選抜料を支払ってください。

いかなる場合においても、出願受付後の入学者選抜料の返還は行いません。

■ 支払方法

- ・ コンビニエンスストア
- ・ クレジットカード
- ・ 郵便局・銀行 ATM (Pay-easy)
- ・ ネットバンキング

※ 入学者選抜料の支払時には所定の手数料が必要です。

また、決済方法により手数料が異なりますので注意してください。

⑥ 入学志願書等の印刷・提出



ログイン

志願票(印刷)



1. インターネット出願サイトのマイページへログインしてください。

2. マイページに表示された『志願票』を選択し、「入学志願書」「封筒貼付用宛名シート」をダウンロードし、印刷（A4・片面）してください。

3. 市販の角形2号封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼り、印刷した「入学志願書」等の出願書類（22、23 ページ参照）を取りまとめ、書留速達郵便により出願書類提出先へ提出してください。

（「封筒貼付用宛名シート」には、出願書類提出先住所が印字されています。）

※ 持参による受付は行いません。

※ 「出願書類の到着確認」の問い合わせにはお答えすることはできません。

配達状況は、日本郵便ホームページ等の、追跡サービスで確認してください。

また、出願書類受理の通知は行いません。出願書類に不備がある場合等は、登録した電話番号、又はメールアドレスにその旨を連絡します。

⑦ 受験票の印刷

令和7年11月14日（金）正午から印刷できます。



1. 出願手続きが完了した者には、印刷開始日に登録したメールアドレスに「受験票の印刷についての案内」を送ります。
2. インターネット出願サイトのマイページにログインします。
3. 『受験票』を選択し、受験票を印刷（A4・片面・白黒印刷可）し、既定のサイズに切り取って、試験当日に持参してください。

※ 受験票の印刷ができない場合は、県立広島大学本部事務部入試・広報課まで連絡してください。

9 出願書類提出先

県立広島大学 本部事務部入試・広報課

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号

電話番号 (082) 251-9540（受付時間：平日午前9時から午後5時まで）

E-mail: puhnyusi@pu-hiroshima.ac.jp

10 出願手續上の注意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む。以下同じ。）へ出願できるのは、一つの大学・学部のみです。本学への同一人の学校推薦型選抜の併願はできません。
- (2) 学校推薦型選抜に合格した場合は、入学手續の有無にかかわらず、他の国公立大学の個別学力検査等を受験しても当該大学の合格者にはなりません。
（特別の事情があり、推薦学校長から推薦入学辞退願が提出され、県立広島大学長が令和8年2月17日（火）までに入学辞退を許可した場合を除きます。）
- (3) 出願は、郵送のみ受け付けます。持参による受付は行いません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
- (5) 出願書類を受理した後は、記載事項の変更、書類の再提出等は一切認めません。ただし、入学志願者の氏名、住所及び緊急連絡先等に変更があった場合は、県立広島大学本部事務部入試・広報課に連絡してください。
- (6) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載事項と異なる事実が発見されたときは、入学許可を取り消すことがあります。
- (7) 一度受理した出願書類及び既納の入学者選抜料は、返還しません。ただし、入学者選抜料を納付した後、出願手續をしなかった場合は、入学者選抜料を返還しますので、令和8年3月31日（火）までに、県立広島大学本部事務部入試・広報課に問い合わせてください。

11 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

- (1) 身体等に障害のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする者は、令和7年10月10日（金）までに、電話により、必ず事前に本学へ連絡してください。申請に当たっては、「身体障害者等受験上の配慮申請書」及び「修学上の特別な配慮に関する相談書」を作成し、必要書類を添付して、県立広島大学本部事務部入試・広報課に郵送により提出してください。

相談内容によっては、対応に時間を要することもあるため、この期限にかかわらず、早い時期に連絡してください。事前相談がない場合や、提出期限を過ぎてから申請書を提出された場合は、受験時の配慮の対応ができないことがありますので、ご承知おきください。

また、事前相談なく受験して、合格・入学後に配慮・支援の申し出があった場合、本学入学後の最初の学期では、配慮・支援の対応ができないことがあります。卒業要件に係る授業の履修が困難になり、卒業が難しくなる可能性もありますので、配慮・支援を希望される場合は必ず事前にご相談ください。

- (2) 本学で講じる受験上の配慮は、令和8年度大学入学共通テストに準じます。

- (3) 「身体障害者等受験上の配慮申請書」及び「修学上の特別な配慮に関する相談書」の様式は県立広島大学ホームページ（下記 URL）からダウンロードできます。

入試情報 > 「受験上の配慮」等について

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/32/hairyo.html>

12 志願者への特例措置

県立広島大学では、次の災害により被災された志願者への支援の一つとして、入学者選抜料の免除及び入学料の減免等の特例措置を行っています。詳細はホームページを確認してください。

入学者選抜料の免除及び入学料の減免等を希望する者は、**令和7年10月10日（金）までに**、必ず事前に本学へ連絡してください。

＜対象となる災害＞令和6年能登半島地震・平成30年7月豪雨

入試情報 > 特例措置について

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/life/5/5/>（「特例措置について」を確認してください）

13 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、必ず受験票を持参してください。筆記試験時間中は、受験票を机の上に置いてください。
- (2) 受験者は、試験場に掲示された注意事項を確認の上、諸注意開始時刻までに、掲示により指定された試験室へ入室、又は集合場所に集合してください。
- (3) 筆記試験では、試験開始時刻から30分を経過して試験室に到着した場合は、受験を認めません。
- (4) 面接試験では、諸注意開始時刻を経過して指定の集合場所に到着した場合は、受験を認めません。
- (5) 各受験者の面接の時間は、試験当日にお知らせします。
- (6) 筆記試験を受験しなかった者は、面接の受験はできません。
- (7) 筆記試験の時間中に机の上に置けるものは、黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音がするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬です。これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- (8) 定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、電子辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類は使用できません。試験時間中にこれらを使用すると不正行為となります。
- (9) 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となる場合があります。
- (10) 試験日の前日等のキャンパス内への立入りはできません。試験場の下見はご遠慮ください。
- (11) 受験票は、入学手続や個人成績の提供・開示手続などの際に必要ですので、試験終了後も大切に保管してください。受験票を紛失した場合、成績の提供・開示に応じることはできません。
- (12) 試験場では、昼食の販売は行いません。各自で準備してください。
- (13) 試験場（庄原キャンパスを除く。）内に駐車場はありませんので、公共交通機関等を利用してください。
- (14) 試験場周辺等で合否電報等のあつ旋を行う者があっても、本学とは一切関係がありませんので、注意してください。

14 合格発表等

(1) 発表日時

対 象	日 時
地域創生学部地域創生学科 健康科学コースを除く学科・コース	令和7年12月11日（木）正午
地域創生学部地域創生学科 健康科学コース	令和8年 2月10日（火）正午

※システムの都合で5～10分、更新が遅れる場合があります。ご了承ください。

(2) 発表方法

ア 合格者には、合格発表日に合格通知書を郵送します。

また、出身学校長には合否について文書で通知します。

県立広島大学各キャンパスの掲示板では、合格発表の掲示は行いません。

イ 本学のホームページ (<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/>) にも、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

ウ 電話等による個別の合否の問い合わせには、応じません。

(3) 合格しなかった者の取扱

本学を志望する場合は、一般選抜（前期日程試験・後期日程試験）学生募集要項に定める手続を行ってください。この場合、志望する学部・学科・コースごとに本学が指定した令和8年度大学入学共通テストの教科・科目を受験しておく必要があります。

15 入学手続等

インターネットから入学手続を行ってください。

入学手続の詳細は、合格通知と併せて志願者登録住所へ郵送します。

(1) 入学手続期間

対 象	手続期間
地域創生学部地域創生学科 健康科学コースを除く学科・コース	令和7年12月12日（金）から12月19日（金）まで（必着）
地域創生学部地域創生学科 健康科学コース	令和8年 2月11日（水）から 2月17日（火）まで（必着）

(2) 入学手続方法

ア インターネットから入学手続（個人情報及び保証人情報等の登録、入学料等の支払い等）を行い、入学手続期間内に、入学手続書類を「入学手続案内」に記載している方法により提出してください。

イ 入学料等の支払時には、所定の手数料が必要です。（大学での現金受領は行いません。）

ウ 入学手続を完了した者には、入学許可書を郵送します。

エ 令和8年3月31日までに所定の入学資格を取得することができなかった者は、入学許可を取り消します。

(3) 入学料等

入学料の額は、次のとおりです。

なお、入学料とあわせて、学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料をお支払いいただきます。分割納入はできません。

また、同窓会入会金、後援会費及び学友会・学生自治会費もあわせてお支払いいただけます。

本学は国の高等教育の修学支援制度の対象校です。入学料の減免の手続については、入学手続時に案内します。

対 象 者	入学料の額
広島県内に住所を有している者 ※令和7年12月1日現在において、継続して1年以上広島県内に住所を有している者を指します。 なお、地域創生学部地域創生学科・健康科学コースは、令和8年2月1日現在において、上記要件を満たす者を指します。	282,000円
上記以外の者	394,800円

(4) 入学手続先

県立広島大学 本部事務部入試・広報課

〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号

電話番号 (082)251-9540 (受付時間：平日午前9時から午後5時まで)

E-mail: puhnyusi@pu-hiroshima.ac.jp

※ 広島キャンパス以外では、受付を行いません。注意してください。

(5) 入学手続上の注意事項

ア 一度受理した入学手続書類及び既納の入学料は返還しません。ただし、入学料等の納付後、入学手続をしなかった場合は、入学料等を返還しますので、令和8年3月31日（火）までに、上記(4)の入学手続先に問い合わせてください。

イ 入学手続期間内に入学手続をしなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

16 授業料等

(1) 授業料

ア 授業料の額

年額 535,800 円

※現行の額です。在学中に授業料の額が改定された場合は、改定時から新しい額が適用される予定です。

イ 納付方法

原則口座振替です。前期（5月末日納期）と後期（10月末日納期）の2回に分けて納付することとなっています。

ウ 授業料の減免・徴収猶予

家庭の経済事情あるいは不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生については、授業料の減免、又は徴収猶予を認める場合があります。

本学は国の高等教育の修学支援制度の対象校です。授業料の減免の手続については、入学手続き時に案内します。

(2) 施設費（生物資源科学部のみ）

ア 施設費の額

年額 15,600 円

※現行の額です。在学中に施設費の額が改定された場合は、改定時から新しい額が適用される予定です。

イ 納付方法

原則口座振替です。前期（5月末日納期）に納付することとなっています。

(3) その他の経費

教科書代、学外での実習に伴う経費（交通費、宿泊費等）、実験実習衣代などが必要となります。

なお、生物資源科学部地域資源開発学科では、選択科目「国際異文化農業体験研修Ⅱ」において、海外での研修を行います。この研修では、200,000円程度かかる見込みです。（実際の交通手段や状況に応じて金額は変動する場合があります。）

17 奨学金等

(1) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構奨学金のほか、財団等の奨学金制度があります。

(2) 学生寮、アパート等

キャンパス	内 容
広島キャンパス	アパート等の斡旋は行っていません。キャンパス周辺のアパート等に関する情報は、3月以降、広島キャンパス教学課にお問い合わせください。
庄原キャンパス	キャンパス周辺のアパート等に関する情報については、合格通知と併せてお知らせしますが、アパート等の斡旋は行っていません。
三原キャンパス	学生宿舎を設置しています。学生宿舎に関する情報は、三原キャンパス総務課にお問い合わせください。 三原キャンパス学生宿舎 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/mihara-campus/gakuseisyukusya.html 【問い合わせ先】三原キャンパス総務課総務係 電話番号 (0848)-60-1120 キャンパス周辺のアパート等に関する情報については、令和7年12月上旬以降に、三原キャンパス教学課にお問い合わせください。

18 個人情報の取扱い

入学者選抜を通じて取得した個人情報（氏名、住所、生年月日、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続、本学が行う入学者選抜に関する調査・研究（入試の改善や志願者動向の調査・分析等）を行うために利用します。

また、本学の学校推薦型選抜における合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。）を、独立行政法人大学入試センターを通じて併願先の国公立大学に送達します。

19 成績の提供・開示

本選抜における個人の成績は、令和8年4月中旬から提供・開示する予定です。提供・開示の手続、方法等については、本学ホームページで別途公表します。（提供・開示には受験票が必要です。紛失された場合は開示できません。）

受験生の方 > 入学者選抜試験における個人成績の提供・開示

<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/32/kaiji.html>

20 受験に当たっての宿泊

希望する場合は各自で問い合わせてください。

試 験 場	問い合わせ先
庄原キャンパス	次のいずれかに問い合わせてください。 【桜花の郷 ラ・フォーレ庄原】 〒727-0004 広島県庄原市新庄町 5281-1 電話番号（0824）73-1800 【ホテル比婆荘】 〒727-0013 広島県庄原市西本町一丁目 19-12 電話番号（0824）72-1717
三原キャンパス	三原ホテル旅館組合 （宿泊先の紹介をしています。予約は各自で行ってください。） 〒723-0014 広島県三原市城町二丁目 2 番 2 号 三原シティホテル内 電話番号（0848）62-1212（年中無休）

試験場案内図

● 地域創生学部 試験場（県立広島大学 広島キャンパス）

【所在地】〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号 電話番号（082）251-9540



【アクセス】

- 広島駅から
【市内電車】⑤広島港（宇品）行きにて「県病院前」下車→徒歩7分
【バス】
・302号（都市循環線（まちのわらべ）右回り）「県立広島大学前」下車後すぐ
・312号（広島みなと新線）／「県立広島大学前」下車→徒歩3分
・342号（県病院前行き）／「県病院前」下車→徒歩2分
- バスセンター（紙屋町）から
【市内電車】①⑦広島港（宇品）行き又は
宇品二丁目行きにて「県病院前」下車→徒歩7分
- 広島港（宇品）から
【市内電車】①⑦広島駅行き又は
⑦横川駅行きにて「県病院前」下車→徒歩7分
- 八丁堀（ヤマダ電機前）から
【バス】広電バス「12号線（仁保沖町）」にて
「県立広島大学前（広島キャンパス）」下車→徒歩1分

● 生物資源科学部 試験場（県立広島大学 庄原キャンパス）

【所在地】〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地 電話番号（0824）74-1700



【アクセス】

- 広島市内から
【車】（※）
広島 I.C. ～三次東 I.C. 約1時間
三次東 I.C. ～庄原キャンパス 約15分
（※）庄原キャンパスの駐車場は無料でご利用いただけます。
- 【高速バス】
広島バスセンター～庄原駅バス停 約1時間50分
- 【JR芸備線】
広島駅～三次駅（快速）～備後庄原駅 約2時間
- JR 備後庄原駅前の「庄原駅バス停2番のりば」から
路線バス「県大線」（21分、片道運賃320円）、
「県立大学バスロータリー」下車

● 保健福祉学部 試験場（県立広島大学 三原キャンパス）

【所在地】〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号 電話番号（0848）60-1126



【アクセス】

- JR 広島駅～JR 三原駅
JR 山陽新幹線「こだま号」で約30分
- JR 福山駅～JR 三原駅
JR 山陽新幹線「こだま号」で約20分
JR 山陽本線で約35分
- JR 岡山駅～JR 三原駅
JR 山陽新幹線「こだま号」で約45分
- 広島空港～JR 三原駅
リムジンバスで約40分
- JR 三原駅～三原キャンパス
JR 三原駅南口バス5番乗り場から
芸陽バス「頼兼線」に乗車（約15分）、
「県立広島大学」（終点）下車